

科目名	総合実習 3								年度	2025
英語科目名	General Practice 3								学期	1
学科・学年	デザイン科 インテリアデザイン専攻 2 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習	
担当教員	角田光代			教員の実務経験		有	実務経験の職種		インテリア デザイナー	
【科目の目的】 この授業では、課題条件がある中で空間デザイン提案を行うが、実務を想定したワークフローで進め インテリアコーディネーターとしての仕事をリアルに理解できるようにする。寸法や空間サイズ感、商品知識、トレンドなど実務に必要な知識を高める。 〈最終成果物：コンテストに応募〉										
【科目の概要】 課題の理解、テーマ、シーンを立てる、コンセプト立案→インテリアエレメント、マテリアルの選定 →空間伝達方法（作図、3D、パースの作成）→プレゼンテーションボード、マテリアルボードの作成										
【到達目標】 到達目標A：課題条件をもとに、テーマを設定しコンセプトを立てられる。 到達目標B：他者にイメージがしやすい図面の作図ができる。 到達目標C：インテリアエレメント、マテリアルの選定ができる。 到達目標D：プレゼンテーションボード、マテリアルボードの表現方法の幅を広げる。 到達目標E：聞き手を意識した、伝えることを明確にしたプレゼンテーションをする。										
【授業の注意点】 授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5		レベル3		レベル1					
	優れている		ふつう		要努力					
到達目標 A	課題条件を理解し、 詳細まで練られたコ ンセプト立案ができ ている		課題条件を理解し、 おおむねコンセプト 立案ができている		課題条件の理解が足 らず、コンセプト立 案が不十分である					
到達目標 B	空間イメージが細部 まで掴める作図がで きている		空間イメージがおお むね掴める作図がで きている		空間イメージが掴め る作図ができていな い					
到達目標 C	商品知識・調査力、 共に極めて高い		商品知識・調査力の 基本が備わっている		商品知識・調査力の 基本が不十分である					
到達目標 D	他者に十分に伝わる 提案資料が作成でき ている		他者におおむね伝わ る提案資料が作成で きている		他者に伝わる提案資 料が作成できていな い					
到達目標 E	聞き手を意識をし た、明確なプレゼン ができています		聞き手を意識をし た、明確なプレゼン が概ねできている		聞き手を意識をし た、プレゼンができ ていない					

【教科書】						
オリジナル資料						
【参考資料】						
必要に応じて資料を配布する						
【成績の評価方法・評価基準】						
到達目標による評価 70% 制作物の完成度、発表方法・内容などを総合的に評価する 平常点 30% 制作準備と過程、積極的な授業態度によって評価する						
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。						
科目名		総合実習 3			年度	2025
英語表記		General Practice 3			学期	1
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	課題説明	要求事項の理解	課題条件の理解、コンテストの取組みの視点	課題条件を理解している		
				テーマ、コンセプトを立てられている		
2	課題説明	要求事項に応える	課題条件の理解、コンテストの取組みの視点	課題条件を理解している		
				テーマ、コンセプトを立てられている		
				要求事項の見直しができている		
3	プランニング	空間構成力	アイデア出し、空間として捉えた場合どうなる？	空間イメージができている		
				シーン、用途のイメージができている		
4	プランニング	空間構成力	アイデア出し、空間として捉えた場合どうなる？	空間イメージができている		
				シーン、用途のイメージができている		
5	商品選定	商品知識 市場調査	エレメント マテリアル選定	マテリアル等の商品知識がある		
				適したマテリアル、アイテムを選べる		
6	商品選定	商品知識 市場調査	エレメント マテリアル選定	マテリアル等の商品知識がある		
				適したマテリアル、アイテムを選べる		
7	提案検討、 作図、制作	作図力 立体造形力	パース、模型、 CG など 立体的に伝える方法	空間を伝える作図ができている		
				立体的に空間を伝える造作ができている		
8	提案検討、 作図、制作	作図力 立体造形力	パース、模型、 CG など 立体的に伝える方法	空間を伝える作図ができている		
				立体的に空間を伝える造作ができている		
9	提案検討、 作図、制作	作図力 立体造形力	パース、模型、 CG など 立体的に伝える方法	空間を伝える作図ができている		
				立体的に空間を伝える造作ができている		
10	提案検討、 作図、制作	作図力 立体造形力	パース、模型、 CG など 立体的に伝える方法	空間を伝える作図ができている		
				立体的に空間を伝える造作ができている		
11	プレゼン テーション	提案資料 作成	応募条件に従った 形式にボードを まとめる	提案資料が作成できている		
			応募条件に従った	提案資料が作成できている		

12	プレゼン テーション	提案資料 作成	応募条件に従った 形式にボードを まとめる		
13	プレゼン テーション	提案資料 作成	応募条件に従った 形式にボードを まとめる	提案資料が作成できている	
14	プレゼン テーション	提案資料 作成	応募条件に従った 形式にボードを まとめる	提案資料が作成できている	
15	仕上げ プレゼン テーション	プレゼン テーション力	応募形態に 整える クラス内発表	提案資料が完成し、応募形態にまとめられた 明確なプレゼンテーションができた	
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他					
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった					
備考 等					